

旅立ちの日

第61回 卒業式

平成24年3月3日

紫藤通信



陽光まばゆい、三月三日、午前十時、第六一回卒業証書授与式が挙行された。多くのご来賓の皆様、保護者の方々のご参列をいただき、感動あるすばらしい卒業式となった。二年一組を先頭に、卒業生は誇らしげな表情で入場した。

卒業証書授与では、卒業生の凛とした返事が体育館中に響き渡った。牧校長から卒業生二〇三名に卒業証書が授与された。

牧幸夫校長は式辞の中で、これから先、困難な壁を乗り越えていくためにも、何事にも前向きな気持ちを強く持つてほしいと述べ、くじけずに精一杯生き抜いて欲しいと、人生の新たなスタートを切る卒業生たちを激励した。

理事長、また来賓からのそれぞれ温かい御祝の言葉をいただき、卒業生は真剣に聞き入っていた。

卒業生代表として「感謝の言葉」を述べた小室淳己くんは、高校三年間を振り返り、友人や親、教職員への感謝の言葉を中心に、「一言、丁寧にして力強く述べた。その向こうには、力強い未来への期待があった。」

山村国際高校を旅立つ卒業生の今後の活躍に期待したい。



発行所
山村国際高等学校
坂戸市千代田1-2-23
☎ 049-281-0221

印刷所
望月印刷株式会社

<http://homepage2.nifty.com/yamakoku/>

各賞授与は次の通り

- 山村学園理事長賞
平井 孔貴(大東)
- 学校長賞
落合 麻帆(オークマウンテンミドルスクール)
- 後援会長賞
神山 翔太郎(初雁)
- 国際文化賞
村上マリア直美(川島)
- 山村要二記念賞
箕口 愛美(朝霞第二)
- 山村ゆみよ記念賞
菅井 由里香(鶴ヶ島東)
- 日本私立中高連合会会長賞
山下 みなみ(初雁)
- 埼玉県私立中高協会会長賞
野村 琢巳(菅谷)
- 埼玉県私立中高協会会長賞
篤 直人(住吉)
- 産業教育振興中央会長賞
小坂 奈津弥(松山)
- 埼玉県産業教育振興会長賞
橋之口 温子(所沢中央)
- 体育協会会長賞
臼井 崇道(鶴ヶ島南)
- 寺澤 恵利香(鶴ヶ島)
- 三力年皆勤賞
三十一名
- 創立者賞
秋山様 山崎様 関根様
関根様

〈太郎を眠らせ、太郎の屋根に雪ふりつむ。〉次郎を眠らせ、次郎の屋根に雪ふりつむ。好達治の傑作「雪」(『測量船』昭5所収)である。筆者はこの詩の前でいつも考える。ここにあるのは「郷愁」なのか「羨望」なのか。今年、日本は記録的な積雪に見舞われた。おそらく「〇〇豪雪」と命名されることだろう。筆者は実は、そんな豪雪の地からおよそ40年前に上京してきた。雪は外界への認識を截断するが、都会は外界への認識を開かせる。生き馬の目はそこで抜かれる。今、振り返って、ある感慨がわいてくる。生きているには、人は歩まねばならない。途方もないどこかに向って、ひたすら歩き続けることが人生の約束。だから、休んではいけない。常に抗い、希望を抱えて前に進まなければならぬ。だが必ず、ひとつの区切りに立ち至る。右に向うか、左へ行こうかである。けれどそれは、だれにも邪魔されない、たったひとりの惜別のための甘美な時間なのかもしれない。あの「雪」は「郷愁」なのか「羨望」なのか。聞えるのはただ「しんしん」というオノマトペ。

回顧録



渡邊 彰夫

今日は朝からまるで雪国のような雪がしんしんと降り落ちて積もった。思い出もこの雪の様にしんしんと降り落ちて消えるものもあり、消えずに積もり重なるものもある。予備校や進学塾の教師も重ねると32年を経て満60歳に至った。雪模様はいつも故郷福井の情景を彷彿させる。自分が幼かった頃の雪。青春の恋に燃えた雪。今じいさんになっちまった雪。全て香りが違う。「君とみる雪」という曲を書いて今回三送会の映画の映画の主題歌とした。この雪はあたたかかった。幼い頃の雪は楽しみで青い香りがした。今見る雪は回顧録のように物悲しい。「Back To The Future」の「Steven Spielberg」の映画があった。年代を設定して過去に瞬間移動したり、未来に飛んだりする。あの車が本当に実在したら、自分は何の迷いもなく

自分が小学5年生だった1963を打ち込む。49年前だ。その時の父親に「父ちゃん！早く病院で精密検査受けてよ。」と叫ぶ。目の前で大声で叫ぶ。そうすれば46年前に48歳の若さで逝くことはなかったかもしれない。物悲しい雪は降り続く。人生はたった一度しか通り過ぎる事はない。悔いなど誰しもが手のひらに握り持つ。だから長く生きたあなた方の先輩達は「悔いのないように生きるんだよ。」と耳元で囁く。若いあなた達は「分っているさ、そんな当り前の事」と返す。しかし「悔い」など先に立つ事はない。人生が繰り返される様に、雪は静かに下へ下へと落ち、消えては積もり、積もっては消えてゆく。そしてまた新しい風が吹き、新しい芽が眼前に現れてくる。きつとほとんど全ての老若男女がその香りの違いを噛み締めるのだろう。冷たく身にしみる雪。あたたかい雪。青く香る雪。物悲しく降り積もる雪。あなた達はどんな雪の香りを噛み締めてゆくのだろう。



事務室だよ

本年度・来年度に関する施設関係のご連絡をさせて頂きます。

①耐震診断調査結果

昨年度本校B館と体育館の耐震調査をした結果、どちらも「問題ない」という専門調査機関の報告を頂きました。特にB館については耐震性能を示す耐震指標「 α 」値が0.6をはるかに超える値を出しておりまして、改めて先人がしっかりと校舎を建てていたことに感謝する次第であります。

来年度は更なる校舎内の安全のため埼玉県庁の担当部署と連絡を密に取り、屋根やガラス等の建物付属部分について、例えば飛散防止のためのフィルムを貼るなどといった改修工事を予定しております。

②放射能測定について

震災後から随時本校敷地内の放射能測定を行なっておりますが、今のところ特別数値が高いところはありません。今後とも坂戸市ホームページに記載されている「除染基準」に従い調査のほうを行なっていきます。

③国の就学支援金と埼玉県の父母負担軽減事業について

現在特に国の就学支援金（いわゆる「高校授業料無償化」）について国会で議論が交わされておりますが、たとえ廃止されたとしても、埼玉県は全国でもトップレベルの父母負担軽減事業を行なっておりますのでご安心ください。但し年度内申請を忘れてしまつとせっかく貰えるお金が出なくなりますので、もし何か気にかかる点などありましたら、お気軽に山村国際高等学校事務室（049-281-0221）までお電話下さい。

来年度例年通り、県の父母負担軽減事業が実施されると、最初の申請は6月頃となります。申請書配布及び緊急連絡メール送信予定です。



進路結果

進路指導部



平成23年度の進路結果は（3月5日現在）、大学合格者数18人・短大合格者数34人・専門学校合格者数58人・就職内定者数10人となっている。また、国公立大学の後期入試の結果や、私大の3月入試の結果が出ていないため、数字は動くと考えられる。

さて、今年度の進路全般を振り返ってみようと思う。まず、3年生について、3学年団教職員が奮闘が随所に見られたため、その一部を紹介したい。第二、「センター試験の受験者数を増やす」という目標を、進路指導部・学年共に掲げた。これを実現するため様々な指導が行われた。生徒の中には、推薦やAO入試で結果が出ている生徒も試験を受けた。これは、一見無駄なようにも思えるだろうが、進路決定後も学力を維持させることができ、大学入学後の勉強にも確実に繋がることである。センター試験出願者は、昨年の2倍になった。第一に、学年団が中心となって一般受験者の中から希望者を募り放課後補習を実施した。その結果、生

徒の学力は予備校などには行くことなく着実に上がっていた。その結果の一例として、国立大学への合格、上智立教大といった難関私大への合格者が出た。また、センター試験で好成績者（日本史で89%が2名、世界史で77%英語85%など）が出た。この数字は、国公立や難関私大に十分挑戦できる数字である。三丁目として、推薦試験を受ける生徒への徹底した面接指導が行われた。クラス担任は勿論のこと、学年主任・同副主任・学年進路担当教諭が希望者全員に対して厳しく、そして細かな指導を繰り返した。その結果、今年は面接での失敗談はほとんど聞こえてこなかった。

学校全体については、土曜セミナー32講座の開催。受講者延べ530人。夏期・冬期校内補習の実施。夏期校内補習は、59講座の開催で延べ544人が受講した。また、夏休み前と学年の終了時3月に全校生徒対象の体験学習の実施。それ以外に、希望者を募ってほぼ毎月体験学習を行った。「医療の仕事」「美

容の仕事」「イベントの仕事」「音響の仕事」「マンガイラスト・アニメの仕事」など、生徒の進路希望調査の結果を参考に実施した。しかし残念なことだが、放課後実施ということで、各講座とも参加者が10名前後と少ない気がした。

今年の進路全般から感じたこととして、昨年の震災の影響から、資格が取得できる学校・学部・学科の人氣が高まってきている。本校生徒に影響のある分野としては、看護、保育・幼教、理工系の進学先である。これらは、かなり難関になっている。特に、看護は顕著で、二年生で将来看護を希望する人は、事前の準備がこれまで以上に大切になってきている。また、就職でも男子が増えたこと、震災の影響もあるのだろうが、消防士や警察官・自衛官などの安定した職種への希望者が増加している。増加しているということは、それだけ競争率が上がり、難関になってきているということである。この分野を希望する人は、1日も早い準備（受験のための勉強）を始める必要がある。

最後に、現2年生へ。AO入試は6月から、就職は9月から、推薦入試は10月から始まります。その前に、就職先や受験

校受験方法等を決めておかなければなりません。決めて、そして合格するための力を付けることが必要ですね。いつから始めますか？いつなら間に合うと思いますか？ 現1年生へ。「中だるみ2学年」と言われます。だからチャンスではないでしょうか。持ち時間は全員同じです。1日も早く動き出した人が目標を実現できると思います。「努力は裏切らない」「奇跡は起こらない」「自分の人生です。後悔のないように過ごして下さい。」



受験を終えて

篤 直人(三一六)

受験は長いようで短い期間だったように今思います。三年に上がり、いよいよだなど思い始めたのが夏休み。あの頃は、まだ志望校すら考えていませんでした。十月になり、先生方と進路の話し合いを進め、しかしまだ決めきれない複雑な時期が続きました。センター試験の過去問を解き、目標にまったく届か

ない時期もあり思うような進路に進めるのか非常に不安でした。しかし、最後まで支えてくれた先生方、そしてもちろん両親のおかげで、最終的に僕の受験は成功しました。山国の受験支援は手厚く、それに応えるようなアクションを起こせば、必ず大きなメリットが返ってきます。繰り返しで月並みな台詞ですが、支えてくれた周囲のあなたがたに最大限の感謝をささげたいと思います。

松本 拓也(三一六)

僕は、大学受験を無事終えることができました。

受験勉強は、苦手とする国語や英語を中心に勉強しました。受験勉強をやれば最後には、結果として表れてくるものだと思えました。もう少し勉強をしておけば良かったという後悔も残りましたが、結果的には、無事に次の進路が決まり満足しています。





オーストラリアへの 修学旅行



本年度のオーストラリア修学旅行は、航空会社（カンタス）の機材縮小の都合により二団に分割して実施された。A 団は昨年一〇月一三日から、B 団は同一〇月一五日から六泊七日（含機内二泊）の旅程でメルボルン・シドニーという同国の主要都市を巡ってきた。二団分割ということは、A・B それぞれの団が天候や諸条件の違いにより、全く別々の修学旅行を体験する可能性が高い。そのため、事前の準備においては、各団の自立性を重視し、二回分の修学旅行を実施する覚悟をもって臨んだ。

成田を出発した各団は、まずシドニー空港に到着した。ここで国内線に乗り換え、メルボルンに飛ぶ。メルボルンは、オーストラリア南東岸の古い街。きれいに区割された美しい街並みは、やはり異国の香りがした。翌日（三日目）は、パツフィンビリー鉄道に乘車した。全ての職員がボランティアで運営される蒸気鉄道。ゆつたりと走る車窓から手足を突き出し、生徒たちは幼な児のように無邪気であった。昼食は、カックウレストラン。ドイツの民族衣裳で迎えてくれたスタッフが、おいしい食事と演奏を御馳走



してくれた。シドニーへ（四日目）。市内観光、有名なオペラハウス。写真でしか見たことのない風景が、そこに実在していた。明日（五日目）は、学校交流の日。シドニー・セカンダリーカレッジでは、これまでの準備が実を結んだ。生徒たちは、心が交い合う温かい時間を手にしたことだろう。（六日目）世界遺産ブルーマウンティン。その名の通りの青い絶景。後刻、ボンダイビーチの白砂の上で、渚で、子どもたちは、この上ない笑顔を見せてはしゃぎ回った。そして、全行程、事故なく素晴らしい天候に恵まれた、この旅の帰国時間は、ビーチの夕暮れとともに、すぐそこに迫っていた。

第35回 校内弁論大会

若紫賞 『祈りと意志』	藤井 瑛美 (2-8)
夕顔賞 『見逃さないで!! 子どもからのSOS』	簀口 愛美 (3-2)
後援会長賞 『技術の流出』	栗原さゆり (3-4)
国語科奨励賞 『生きる』	藤川 昌也 (2-1)



第15回 スピーチコンテスト

Shining Star Prize “2012 PropHecy or Panic?”	3-4 Naomi Maria Murakami
Eternal Flame Prize “Sexual Harassment”	2-6 Mai ogino
Crystal Prize “My Schooldays in ‘Yamakoku’”	2-7 Mio Honda
Honorable Prize “The King of Monsters ‘Godzilla’”	2-6 Hirohisa Komoda



5年目をむかえた コミュニケーション トレーニング



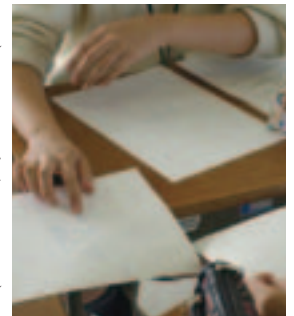
9月27日(火)の文化祭振替え休日、カウンセリングルーム主催の1日コミュニケーションスキルトレーニング(略称コミュトレ)が開催されました。

1年生から3年生までの14名の希望生徒と、共有コーチング研究会のボランティアコーチ6名がサポートに入っており、山村先生を進行役として楽しくトレーニングは進行していききました。

1日コミュトレは「自分を知る」「聴く・伝えるスキル」「相談にのるスキル」の3つのテーマで、体験を通して学べるプログラムで構成されています。

午前の「自分を知る」では性格テストを使って理想と現実の自分をチェックし、リフレミングという方法を学びました。

「聴くスキル」では5つのコツを学びました。例えば、感情の伝達手段として、言葉の役割は7%に過ぎず、声の大きさや調子は38%で、55%は表情による伝達であると言



われているのですが、それほど表情による伝達は重要だということ、あるエクササイズで体験しました。このトレーニングでは「頭で解る」だけではなく、こういう感覚を身体でも感じていくことを目的としています。

「伝えるスキル」では、同じ説明を聞いて簡単な絵を描いて見せ合ったり、様々な種類の質問を使いながら会話を楽しむワークをしました。ボランティアコーチと将来の夢ややりたいことについて話すワークもありました。

午後は「友人から悩みを相談されたら」どうすればよいかワークシートを使ってグループで体験しました。

簡単な心理学の内容を織り交ぜながら、実際の高校生活に即した内容でみんな真剣に学んでいました。

面接試験を控えていた3年生には「将来の夢・やりたいこと」について話す場面が役立ったようです。

「コミュトレってなんか難しそう...」「ちょっと恥ずかし

しい...」というイメージがあるかもしれません。しかしコミュニケーションについて体験を通して学ぶ機会はそのほど多くはありません。

「人と接することは苦手だから...途中で辞めてもいいですか?」と言いながら参加したけれど、楽しく毎年参加し、コミュニケーションのレベルアップに取り組んでいる人もいます。

毎月1回放課後に行っているテーマ別のコミュトレと1日開催のコミュトレも、今年で5年目になりました。

これまでにこのトレーニングに参加した卒業生の中には、既に保育士として働いている人、また現在、看護師、教師、栄養士、薬剤師を目指している人、心理学や福祉学を学んでいる人など、人と接する仕事を目指している人がたくさんいます。

将来人と接する仕事を指している人、内容に少しでも興味を持った人がいたら、ぜひ参加してみてください。



コミュトレに参加して

山下 春風(三一七)

コミュトレに参加したこと、推薦入試の面接に落ちついて対応することができました。また、面接対策だけではなく、コミュトレで学んだコミュニケーションスキルのおかげで入試会場で友人ができました。心理テストなどを通して自分を知ることができました。すごく有意義な時間を得ることができました。

山下みなみ(三一七)

大学入試の面接に役立つというところで、参加しました。当日は本校の生徒以外に、様々な地方から来ていただいた方と活動しました。人の話を聞いてアドバイスしたり、自分の考えを人に聞いてもらうことがとても大切だということに改めて思いました。

伊藤 美侑(三一七)

私が参加した理由は、受験の際の面接に役立てればと思っただけです。参加してみて、意識しなくても人と会話をする時に目を見て話すことができるようになりました。また、自分自身についても知ることができ、面接だけでなく日常生活にも役立たせることができましたので良かったです。

部活の動き

大会結果 バドミントン

・バドミントン全国大会 (バトンの部小編成) 金賞
 十五年連続出場、二年連続九度目
 ・埼玉県高校M & B大会 バトンの部
 一位 Aチーム
 五位 Bチーム
 一位 Aチーム
 ポンポンの部 一〇位
 総合優勝
 ※平成二十四年度全国高校総合文化祭(富山大念)出場決定。

大会結果 居合道

・埼玉県居合道大会 二回戦
 ベスト8 山本沙来
 ・埼玉県東西對抗居合道大会 二段の部・個人演武 優秀賞 山本沙来

大会結果 剣道

・新人戦県大会 男子団体(二回戦)

浦和学院〇対三山村国際 (一回戦)
 草加東〇対三〇〇 (二回戦)
 春日部三対二〇〇
 ・坂戸市三大会 男子個人
 一位 大崎哲平・二年
 二位 村木章悟・二年
 三位 山本沙来・一年

大会結果 バレーボール

女子
 ・春季大会西部支部予選 二回戦進出
 ・学校総合体育大会 西部支部予選 一回戦敗退
 ・第35回私学大会 Cリーグ第一位
 ・選手権大会西部支部予選 二回戦進出
 ・新人大会西部支部予選 三回戦進出
 (県大会への代表決定戦 二回戦進出)
 ※毎年一回OG会を開催 今年で27回目となりました。男子バレーボール部も少人数ではありますが、毎日元気に活動しています。

大会結果 サッカー

・新人戦西部地区一次予選 対 狭山清陵 六対〇〇
 対 越生 二三対〇〇

・新人戦西部地区 決勝トーナメント
 対 所沢商業 三対〇〇
 対 川越東 〇対三〇
 西部地区ベスト16
 二月から二つの大会(U18 Wリーグ・3Wリーグ)が始まり九月まで行なわれます。長丁場の大会になります。生徒達が成長して、目標の大会で活躍してくれることを期待しています。

大会結果 野球

・春季高等学校西部地区大会 狭山ヶ丘一四対一山村国際
 ・全国高等学校野球選手権 埼玉大会 二回戦
 山村国際〇対七与野
 ・夏季西部地区新人大会 川越九対〇山村国際
 ・秋季地区大会 一回戦
 山村国際七対二飯能
 二回戦
 所沢北四対三山村国際

活動報告 男子バスケット

男子バスケットボール部は、二年生七名、一年生一二名で、火曜日以外はほぼ毎日練習しています。
 外部コーチによる指導で基本的技術が身につく、現在ではチームプレーを中心とする練習をくり返しています。定

期的に練習試合も行い、日頃の練習の成果を試しては修正するの連続です。
 今年度は、公式戦で悲願の一勝を挙げることができました。今後は、常に一勝してシード校と張り合えるまでチーム力をアップさせたいと考えています。
 まだまだ発展途上のチームですが、日々元気良く練習していますので、今後もあたたかく見守って頂ければ幸いです。

活動報告 男子ソフトテニス

九月新人大会 二回戦
 山田・川村四対一和光
 松本・森 四対〇山村学園
 大塚・小黒四対〇立教新座
 三回戦
 山田・川村一対四川越東
 松本・森 〇対四川越東
 大塚・小黒〇対四川越工業
 一月私学大会 一回戦
 角・内海四対〇城西川越
 川村・山田か四対二城西川越
 森・大塚四対一城西川越
 山田裕・村松四対三城西川越
 二回戦
 角・内海〇対四武蔵生越
 川村・山田か二対四武蔵生

越 森・大塚一対四川越東
 山田裕・村松四対二埼玉平
 成
 三回戦
 松本・小黒二対四川越東

活動報告 女子ソフトテニス

関東大会西部地区予選 個人戦 一回戦
 関東大会西部地区予選 団体戦 一回戦
 団体予選 個人戦 一回戦
 新人大会 個人戦 一回戦
 西部地区秋季大会 個人戦 一回戦
 私学大会 個人戦 一回戦

大会結果 陸上

高校新人地区大会
 ・一〇〇M出場
 ・野口泰臣、菅沼佳奈、横山祐輔、嘉村美希
 ・二〇〇M出場
 ・横山祐輔、菅沼佳奈、野口泰臣
 ・八〇〇M出場
 ・小林貴幸、三浦右早馬
 ・一五〇〇M出場
 ・小林貴幸、三浦右早馬
 ・四〇〇Mリレー出場
 ・一走・小林貴幸、二走・横山祐輔、三走・野口泰臣、



活動報告

ダンス

- ・第四〇回私学文化祭参加
- ・平成二十三年度埼玉県高校連新人合同発表会参加
- ・高校生ダンスコンテスト優勝
- ・高校ダンス部新人戦参加

- 四走・三浦右早馬
- 一六〇〇Mリレー出場
- 一走・小林貴幸、二走・横山祐輔、三走・野口泰臣、四走・三浦右早馬

高校県新人兼県民総体

- ・四〇〇Mリレー出場
- 一走・小林貴幸、二走・横山祐輔、三走・野口泰臣、四走・三浦右早馬
- 一六〇〇Mリレー出場
- 一走・小林貴幸、二走・横山祐輔、三走・野口泰臣、四走・三浦右早馬

活動報告

吹奏楽

日本管弦打楽器ソロコンテスト
打楽器部門 本選出場
銀賞 岡田愛
埼玉県アンサンブルコンテスト

- 銅賞 打楽器四重奏 岡田愛 山田咲
- 荒幡真之 伊藤那奈美
- 銅賞 サックス四重奏 保坂美沙 田中真司
- 石山理沙子 嵐田結花
- 日本管楽合奏コンテスト予選 優秀賞

西部地区吹奏楽研究発表会
第52回埼玉県吹奏楽コンクール出場
西部地区高校音楽祭 出場
さかど産業まつり 出演
私立高校生フェスティバル出演

大会結果

放送

県立嵐山郷クリスマスコンサート出演
パレンタインフェスティバルコンサート出演
ジュニア打楽器アンサンブルコンクール 打楽器四重奏
全国大会出場決定

活動成績

書道

第四十回私学文化祭
作品展 書道部門
埼玉県私立中学高等学校協会
会長賞

- 原 由紀(北坂戸中)
- 第六十四回埼玉県書き初め中央展覧会
特選賞
峯岸 舞(富士見台中)
- 齊藤 舞(大井中)
- 金子 芽衣(吉見中)
- 優良賞
古谷 春香(黒須中)
- 高井 麻由(松山中)
- 新保 友希(川越西中)
- 小西里加子(藤久保中)

活動報告

茶道

第六回坂戸くらし展 茶会開催



大会結果

被服

第四〇回私学文化祭・作品展
生活文化部
優秀賞
橋ノ口温子

活動報告

鳴子連

- 八月坂戸よさこい 東松山陣屋まつり
- 坂戸市民プール 九月霞ヶ関中学校
- 十月老人ホームすこやか家 大宮アートフルゆめ祭り

活動報告

生物

十一月東松山陣屋まつり本陣 埼玉YOSAKOI フェスティバル
三月ふるさとまつり龍季祭

東京理科大学・理窓会主催
第三回坊っちゃん科学賞
研究論文コンテスト
優良入賞

「室温28℃でも細菌の増殖を抑える天然防腐剤を使用した惣菜の調理方法」
ハムスター班

関根瑞樹(高階西中)
佐賀汐美(高階西中)

生物部の研究テーマとして
は、惣菜中の細菌類の増殖から見た食の安全に取り組んでいる。今回の研究からは、節電冷房で室温28℃の夏期補習

期間中の教室でも、天然防腐剤を練り込んだ惣菜であれば安心してお弁当として食べられるという結論を得た。
慶應大学先端生命科学研究所・鶴岡市主催
第一回高校生バイオサミット発表会参加

「安心して食べられる手作りハンバーグの加熱時間について」
ハムスター班
来田彩花(砂中)

大木芽衣(小川東中)

今回は残念ながら入賞は逃したが、審査員を前にしてのポスター発表では、全国の高校生と互角であり、また大いに得るものがあつた。

活動報告

華道

華道部は、毎週火曜日にデザイン室で活動しています。生け花やフラワリアレンジメントのおけいこをしたり、むずかしい花型は、デモンストラーションやビデオで勉強しています。

生活に活ける生け花ということを楽しみ部活を展開しています。どなたも時間があつたら見学しにきて下さい。お待ちしております。



活躍する卒業生

小学校教諭

落合 静香さん
(平成十六年度卒)



「おはようございます!!!」
毎朝元気のいい子どもたちの声が教室中に響いています。わたしは、現在小学校の教員をしています。高校生のときには、「小学校の教員」になるとは考えていませんでした。けれども、教育学部に進み、実習やボランティアの活動を通してこの職を感じることができるようになりました。

学校では、毎日色々なことが起こり、新しい発見と驚きの連続です。先日、給食配膳中に給食を落としたり、金曜日まで元気だった子どもたちも、月曜日にはインフルエンザ等で4分の1の人数が欠席してしまったりと、何が起るかわかりません。でも、そんなときには、自分から進んで給食当番を代わってくれ

たり、欠席連絡カードを書いたりしてくれたりするやさしい子どもたちがたくさんいます。子どもたちのやさしさに助けられることがたくさんあります。

また、学習指導では、個々の能力によって理解の程度も異なっています。けれども、理解すれば、「もつとやりたい」と意欲的に問題を解こうとします。そんな姿を見るととてもうれしくなります。

わたしにはまだまだ経験も技術も知識も十分ではありません。今は回りの先生方からたくさん助けられ、教えていただいています。子どもたちのためにも、学校の職員の一人としてもこれからもつとめて勉強していかなければと感じている日々です。



全国大会へ

尚美学園大学二年

小林 真奈美さん
(平成二十二年卒)



私は、小学生の頃から剣道をやっており、今もなお、大学の剣道部に所属しています。大学の剣道部は50名近い人数で、週6回の厳しい稽古に汗を流して頑張っています。そのおかげで私達の大学は、昨年女子が、関東大会をベスト16まで勝ち抜き、団体戦では初出場となる全国大会に出場することができました。私は、メンバーに選ばれましたが、当日は補欠でした。全国という大きな舞台で試合をすることはできなかつたのですが、色々なことを経験し学ぶことができました。もう一度全国大会に出場し、今度こそ自分の剣道を全国の舞台で披露するというのが今の私の目標です。諦めそうになることもあります。目標達成のため日々の稽古に励んでいます。

第17回 卒業作品展

三年生ファッションデザインコースによる卒業作品展が、二月二十二日・二十三日に実施された。DMでは、スーツ・コートその他を発表した。また、家庭演習の和服では、浴衣や甚平などの制作。あまり馴染みのない和服であるが、最近また若い人たちの間で見直され、静かなブームになっている。

民族衣装の研究発表では、例年実施している博物館の見学からスタートさせた。見学後、それぞれの研究国を決定し、試行錯誤で研究に取りか



かった。製図でつまづき、布地や費用の調査をすずめ仮縫いで補正をし、全体的に創意工夫をしながら、なんとか自分なりの納得出来る衣装に完成させた。

この卒業作品展で、充実した二年間を過ごしたファッションデザインコースの思い出を、しっかりと胸に焼き付け、更に自信をつけて新しい一歩を踏み出すことでしょう。

御協力をいただいた先生方生徒の皆さん。本当に有り難うございました。

